



令和5年度の 取組成果について

箱根山火山防災協議会

令和5年度の実施成果

取組成果1 火山ガス対策の充実

火山ガス計測の継続実施

取組成果2 大涌谷園地及び周辺的安全対策の推進

(1)地すべり対策の推進

(2)箱根山火山避難計画等の改定の検討

取組成果3 大涌谷自然研究路再開を踏まえた対策

(1)避難誘導訓練の実施

(2)図上訓練等の実施

取組成果1 火山ガス対策の充実

火山ガス計測の継続実施

- 自然噴気孔及び52号蒸気井における火山ガスの採取及びガス組成分析
- 大涌谷園地内外における大気中の火山ガス濃度の観測及び解析の実施

⇒ ガス濃度に大きな変化なし。

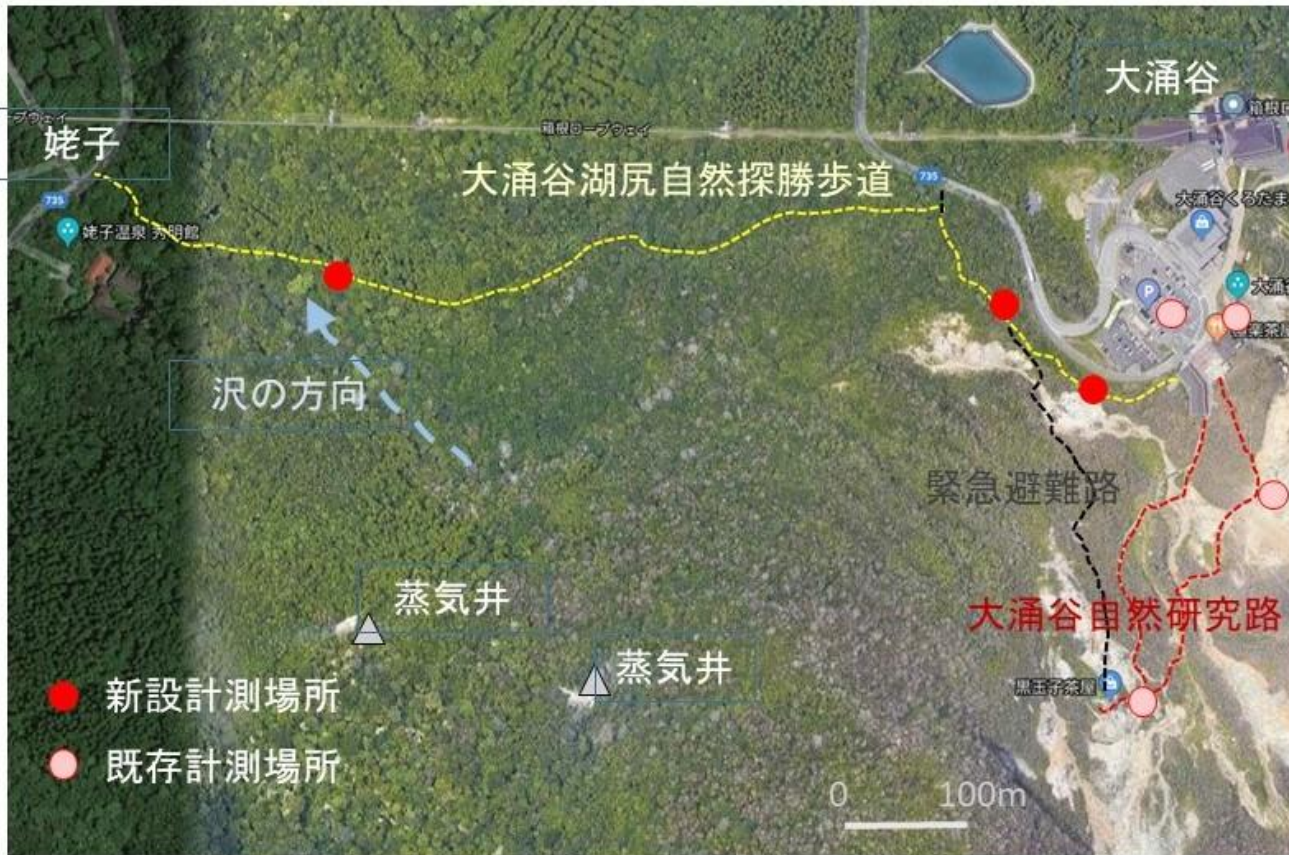
⇒ 令和5年度に大涌谷園地において「注意情報」の基準値以上となるガス濃度は計測されなかった。



県職員による噴気孔調査の様子

取組成果1 火山ガス対策の充実

○ 大涌谷湖尻自然探勝歩道の再開検討に向け、火山ガス計測を実施



四季ごとに各10日間
携帯用ガス検知器を設置
ロガーにより左記3地点
のガス濃度を記録



3,6,9月の調査では
 H_2S 、 SO_2 ともに
注意情報レベル以上の
濃度は検出されなかった。
(1月の検査結果は解析中)

再開検討に向け、今後も
調査を継続

取組成果 2 大涌谷園地及び周辺の安全対策の推進

(1) 地すべり対策の推進

- 地すべり観測の継続実施
- 箱根山火山噴火緊急減災対策砂防計画に基づく対策の実施

【内容】

観測施設による調査等の実施



地すべり観測



取組成果 2 大涌谷園地及び周辺的安全対策の推進

(2) 箱根山火山避難計画等の改定の検討

○ 検討体制

令和5年4月、有識者、気象庁、箱根町等で構成する「箱根山ハザードマップ検討部会」を設置

○ 火山ハザードマップの検討

箱根山に関する最新の調査研究等で明らかになった知見を、避難計画等へ反映させるため、基礎資料となるハザードマップの作成に向けて、噴火で想定される火山現象や、影響範囲等について検討

取組成果 3 大涌谷自然研究路再開を踏まえた対策

(1) 避難誘導訓練の実施

- 火山ガスの濃度が上昇した場合を想定した、避難誘導訓練を実施
(8月)
- 観光客等が適切に避難できるよう、自然研究路からの避難手順や、ガスマスクの装着方法、園地事業者による観光客等の建物への誘導等の対応要領を再確認



自然研究路内での避難誘導訓練の様子

取組成果 3 大涌谷自然研究路再開を踏まえた対策

(2) 図上訓練等の実施

- 突発的な噴火を想定して、気象庁、箱根町、神奈川県警察と図上訓練（検討会）を実施（12月）
- 迅速かつ的確に情報共有、避難誘導、各種措置等が実施できるよう、関係機関との情報受伝達、避難要領等を再確認

